

〔吉川家譜〕廣家年老シ多病、世事ニ倦ム、故ヲ以テ常ニ駿武ニ參覲スル能ハズ、同長慶九年甲辰偶上京シテ家康將軍ニ謁セリ、熱海ノ温泉五桶ヲ賜_{東條式部卿法印ヨリ、福原越後守ヘ添書アリ}、福へ賜フニ依テ、東條式部卿法印ヨリ、福原越後ヘ書ヲ遣ス。

吉川藏人殿、あたみの湯御望の由申上、昨日五桶我等かたへ請取置申候、今朝以使者申候へ者、はや御下候然者大坂へ被遣舟便ニ御下候て可給候、未大坂ニ御逗留候者、早々飛脚を被遣、御届頼入候、恐惶謹言、

七月十六日

福越後様

人々御中

〔諸事留一〕天保三年四月

本多修理知行所
伊豆國加茂郡和田村
願人名主新左衛門

右和田村之義温泉有之慶安三寅年樽詰に致爲御用江戸江相廻し候義も有之其外元祿十七末年津波ニ而浴場并民家一圓に押流し夫より中絶致候處舊例も今般右温泉樽詰御府内相廻し故障之義無之哉

乍恐以書付申上候事

一和田村湯何拾年已前ニ出來仕候共不奉存候、但湯屋立申候義ハ慶安三年戌年に立申候、年數之義は當午年迄九十三年ニ罷成申候、

湯能書之覺